

# 米中「台湾」で応酬

産経 21.11.17



15日（現地時間）、米ホワイトハウスで、中国の習近平国家主席とオンラインで会談するバイデン米大統領（ロイター）

【ワシントン＝渡辺浩生、北京＝三塚聖平】バイデン米大統領と中国の習近平国家主席は米東部時間15日夜（日本時間16日）、オンライン形式による初の首脳会談を行った。ホワイトハウスが会談後に発表した声明によると、両首脳は米中間の競争を責任ある形で管理していくことの重要性に関し協議した。バイデン氏は「台湾海峡の平和と安定を損ねる行動に強く反対する」と表明。両首脳は一方で、米中対立が衝突に発展するのを回避する立場では一致しているとみられる。2面に「主張」、3面に「大國間競争手探じ」、8面に会談要旨。

## 首脳、衝突回避は一致 オンライン会談 人権も平行線

# 米中首脳 衝突回避で一致

## オンライン会談 台湾問題 応酬

### 会談の主なテーマ

- |        |
|--------|
| 1.米中関係 |
| 2.台湾   |
| 3.人権   |
| 4.経済   |
| 5.気候変動 |

## 米中首脳、台湾・人権で応酬 オンライン協議 対話継続は一致

ワシントンのホワイトハウスで11月15日、中国の習近平国家主席とオンライン形式で会談する米国のバイデン大統領（左）＝AP



### 首脳 オンライン初会談

## 米、台湾の現状変更「強く反対」 中、独立勢力に警告「断固措置」

## 対立鮮明 対話継続は一致

バイデン米大統領と中国の習近平国家主席は16日（米東部時間15日）、オンライン形式の首脳会談を開いた。最大の懸案の台湾問題について、バイデン氏は「一方的な現状の変更や平和と安定を損なう試みに強く反対する」と語る一方、習氏は「台湾独立勢力が一線を越えれば、断固たる措置をとる」と応じた。双方は意思疎通の必要性は一致したが、対立構造の根柢も浮き彫りになった。▼2面「応酬も平行線」11面「対話継続は一致」

両首脳は、14面「社説」の位置づけ。会談は約3時間半にわたった。バイデン氏は冒頭、「競争が衝突を招かないようにする」というのが、両国のリーダーである我々の責任だ」と強調。米中関係の緊張の高まりから偏激的な衝突が起きないように、両首脳が責任をもって競争を管理する必要性を訴えた。

中国外務省によると、習氏も、安全保障や経済などの分野に於いて「対話チャ

# 各紙記事の比較

	読売新聞	朝日新聞	産経新聞	日経新聞
①記事の扱いと見出し	(1面トップ) ・衝突回避で一致 ・台湾問題 応酬	(1面左5段抜き) ・対立鮮明、対話継続は一致	(一面トップ) ・台湾で応酬 ・衝突回避は一致	(一面下3段抜き) ・台湾・人権で応酬
②その他記事の見出し	・対立構造変わらず ・経済・貿易 膠着状態	・応酬3時間半 平行線 ・バイデン氏「支持低迷、妥協は致命傷」 ・習氏「内政干渉」米側に次々注文 ・日本政府、中国との間合い議論これから	・米、手探りの大国間競争	・緊張緩和探るも溝 ・習氏、台湾「一線超え」許さず
③社説	衝突回避は威嚇の自制が先決  ・中国が強引な海洋進出や台湾への威嚇を続け、米国主導の国際秩序に挑む構図は当面変わらない  ・習氏は外交を本格的に展開し、大国の指導者としての責任を果たすべきだ	対抗より協働の道探れ  ・米国は中国の意図が戦後国際秩序への挑戦にあるとみて対抗姿勢を強めている  ・中国は共産党による一党支配そのものに米国が異を唱え始めたこととみて警戒している ・両国が協働できる領域を広げてほしい	台湾への脅しに屈するな  ・米国・欧州・日本など民主主義陣営にとって、台湾の民主主義を中国の圧力から守ることは極めて重要だ。  ・脅しに屈してはならない ・岸田首相は早期に訪米し、バイデン氏とともに中国包囲網を主導してもらいたい	衝突回避へ米中首脳は対話を続けよ  ・バイデン氏が「両国の競争が衝突に変わらないようにする責務がある」と語ったことは意味がある  ・力で現状を変更するような中国の姿勢に歯止めをかけながら、接点も探る ・それには自由主義、民主主義陣営の結束が、これまで以上に重要になる
④歴史決議に関する記事	・習氏に言及14回 ・「個人崇拜禁止」消える	・中国共産党「第3の歴史決議」公表 ・「習近平同志のもとで団結を」	・天安門事件は「動乱」 ・目立つ習氏礼賛	・「個人崇拜禁止」消える ・集団指導体制に転機 ・新時代の特色ある社会主義思想
⑤歴史決議の要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 党の100年の奮闘による重大な成果と歴史的経験を総括することは、全党が前進するめに必要</li> <li>2. 毛沢東同志は、完全に誤った判断を下したことで、「文化大革命」を引き起こし、これを指導した</li> <li>3. 鄧小平同志は、党と国家の活動の中心を経済建設に移して、改革・開放という歴史的決定を行った</li> <li>4. 習近平同志は、新時代の中国の特色ある社会主義思想を打ち立てた</li> <li>5. 習同志を全党の核心的な地位に据えたことは、党と国家の事業の発展、中華民族の偉大な復興という歴史的プロセスの推進で決定的な意義を持つ</li> <li>6. 「愛国者による香港統治」を実行し、一国二制度の確固とした基盤を固めた</li> <li>7. 「一つの中国」の原則を堅持し、台湾独立と外部からの干渉に断固として反対する。祖国の完全統一は必ず実現する</li> <li>8. 2035年までに社会主義現代化を実現し、今世紀半ばまでに社会主義現代化強国を築きあげる</li> <li>9. 改革・開放を全面的に深化させ、共同富裕を促進し、科学技術の自立自強を推進し、軍隊の現代化を加速しなければならない</li> <li>10. 全党・全軍・全国各民族人民は、習同志を中心にいっそう緊密に団結し、中華民族の偉大な復興という中国の夢の実現に向けてたゆまず奮闘しなければならない</li> </ol>			